

平成26年度決算の概要



	予算現額	歳入(収入率)	歳出(執行率)	歳入歳出差引残高
一般会計	969億5667万9000円	909億5290万3422円 (93.8%)	877億1369万9459円 (90.5%)	32億3920万3963円
特別会計	国民健康保険事業	260億8217万9000円 (94.9%)	247億4722万5957円 (94.5%)	9636万8664円
	後期高齢者医療	44億4900万円 (95.2%)	42億3667万2716円 (91.7%)	1億5868万1555円
	介護保険事業	169億6196万5000円 (91.5%)	155億1573万3754円 (88.7%)	4億6398万4770円
計	1444億4982万3000円	1354億5253万5849円	1314億9429万6897円	39億5823万8952円

賛成

賛成

区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られたことを評価

自 民 党

26年度決算について、このたび決算審査で成果を確認したが、行政区の全般にわたって区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られており、改めて西川区政の成績を高く評価する。

まず、財政状況について、経常収支比率や人件費比率等は、我が党が提案した水準の範囲内にあり、引き続き健全な財政運営を維持している。厳しい財政状況が改善されてきたのは、我が党が主張し続けてきた行財政改革に、区が熱意を持って取り組んだ結果であると評価する。

数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実な執行がなされたものと高く評価する

公 明 党

一方、社会保障関係費の増大、財政指標から見ると、経常収支比率、公債費比率は改善しておらず、健全化基準を大きく下回っています。また、包括年次財務報告書においても負債が減少し、区の財政状況は、現時点で概ね良好と言えます。しかし、今後は法人住民税の更なる国税率等の影響が懸念され

る一方、首都直下型地震への備えや水害対策の強化、多額の財政負担を伴う行政需要が見込まれる。従つて、

今後の区政運営は、財政の健全性を確保しながら、必要な施策には予算を重点的に投入する等、効率的・効果的な展開が求められる。

具体的な施策では、我が党が予算要望として区長に提出した「平

成26年度予算に関する要望書」に掲げた項目は、概ね予算化され実行されている。さらに決算特別委員会で、平和事業・平和教育、女性活躍推進法案、隙間のない水害防護、受動喫煙防止対策の強化、「ゆいの森」完成を近隣の方と喜び合えるような配慮等について要望や答弁がなされた。加えて、子育て支援制度の検討、認知症の地域支援推進員の全ての地域包括

の新しい発想の事業実施、子育て中の女性や若年者に対する一層の就労支援等を期待する。

産業振興では、街なか商店塾等の電線地中化の推進、「花と緑の絆」の実現に向けた努力を重ね、区民が本当に幸福を感じできる荒川区の実現に向け全力を尽くしてほしい。決算特別委員会での我が党議員からの提案等を真摯に受け止め、今後の区政運営に反映するよう強く要望して、賛成討論とする。

以上、平成26年度決算について

は数多くの事業や取り組みを積極

的・効果的な展開が求められる。

以上、平成26年度決算について

は数多くの事業や取り組みを積極